

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成26年04月30日

事務事業名	自然教育センター管理運営事業				担当	教育委員会 自然教育センター	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-1277	
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市自然教育センターの設置、管理及び使用条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S60 年度～)	
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費	9.自然教育センター費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	
事業概要	自然教育センター（老人研修センター併設）施設（研修棟、宿泊棟、作業棟、農地、多目的ホール、第一・第二野外炊飯場、水上アスレチック、釣り池、ホタル水路、芝生広場、野球場、サッカー場、ゲートボール場、屋外倉庫5棟、貨車2両、自転車置場、日本庭園、駐車場とその周辺）の維持・管理、修繕事業と備品の整備及び体験学習林の維持・管理、公用車4台の安全管理とメンテナンスを行う。活動用地面積約300000平米／敷地面積13437平米／建築物延床面積3933平米						

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者が安全で効果的な活動や研修ができるように施設環境の整備を図ることで、未来を担う子どもたちの健全育成や高齢者の生きがい作りに結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 自然教育センター（老人研修センター）管理運営は、利用者の安全確保及び効率的学習（研修）のため不可欠である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 利用者のための学習（研修）環境の施設の機能保全、安全確保が目的であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 現状において、適切な維持管理を行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 適切な維持管理を怠ると本来の機能が得られなくなり、老朽化が加速してしまう。 自然教育センター（老人研修センター）の利用に支障が生じては、児童生徒・高齢者に安全で快適な学習（研修）環境を提供できなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 利用者に安全で快適な学習（研修）環境を提供できなくなる。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設の日常点検及び業務委託に関する契約・監督・支払い事務が主なものであるため、人件費削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 施設管理は市の責務である。

## 3. 改革・改善方向の部

### (1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止  見直し ( :目的妥当性  :有効性  :効率性  :公平性)  統合  繼続

### (3) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

### (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

### (2) 2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

### (5) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

### (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  
 事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### (4) その他2次評議会議で指摘された事項